

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績		
【法人名】 (株)さいたまリバーフロンティア 【中期経営計画の期間】 令和2年度～令和4年度	目標	利用者数 176,000人 (令和4年度収支計画 176,000人)	売上高 1,597,000千円 (令和4年度収支計画 1,597,000千円)	税引前当期純利益 33,500千円 (令和4年度収支計画 33,500千円)
	各年度の実績	【令和2年度実績】 136,473人 【令和3年度実績】 180,715人 【令和4年度実績】 181,270人	【令和2年度実績】 1,093,891千円 【令和3年度実績】 1,540,607千円 【令和4年度実績】 1,592,784千円	【令和2年度実績】 △227,406千円 【令和3年度実績】 96,794千円 【令和4年度実績】 140,578千円
	法人による自己評価	令和4年度は、1年を通して長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受け、依然として5人以上集まる場でのアルコール販売の自粛や大型コンペにおけるパーティーの利用制限を継続するなど、感染症対策を徹底して営業する1年となった。このような中、「まん延防止等重点措置」が令和4年3月に解除され、ワクチン接種も普及し、「ゴルフ場は3密が避けられ、感染リスクが低い」という意識も定着し、ゴルフ場利用に対する新型コロナウイルスの影響はかなり減少した。 上半期における利用者数は、当初順調に推移していたものの、7月中旬から8月中旬にかけて14日間の猛暑日に見舞われたこと、9月における2回の3連休に台風が接近し、多くのキャンセルが生じたことにより、前年度を455人下回る91,561人となった。 下半期における利用者数は、台風の接近がなく比較的安定した天気にも恵まれたこと、降雪によるクローズが前年度実績(7日間)を下回る5日間に留まったこと、3月は熊谷の桜の開花が過去最速(3月17日)を記録するなど温暖な好天に恵まれたことから、前年度を1,010人上回る89,709人となった。 令和4年度の通期利用者数は、前年度実績を555人上回る181,270人となり、当社設立以来の最高値を記録し、令和4年度目標の176,000人を上回った。	令和4年度の売上高は、ウイズコロナ政策の下、緩やかな景気回復もあり、通常営業における利用者数増とともに順調に推移した。年間の売上高は1,592,784千円となり、前年度比52,177千円のプラスとなった。 プレー後の食堂利用と昼食時の飲み物の利用が増えたことにより、食堂部門全体で前年度比12.6%、30,945千円のプラスとなったことが大きく影響した。ただし、令和4年度目標の1,597,000千円には僅かに及ばなかった。	令和4年度の費用については、光熱水費(前年度比15,245千円増)、燃料費(前年度比2,365千円増)等が増加する一方、当社HPをリニューアルし、当社予約サイトの利便性を高め、他社予約サイトの利用を減じることにより、他社に支払っていた送客手数料を28,670千円削減したこと等により、全体では前年度比3,871千円のプラスに抑えることができた。 また、投資・修繕については、大きな台風や大雪などの悪天候に見舞われることなく年間を通じ安定的な会社運営が見通せることとなった年度後半に、収入とのバランスを図りながら、男女別移動式トイレの設置などを実施した。 その他の事業についても、内容を十分に精査した予算執行に努めたことにより、税引前当期純利益は前年度を43,783千円上回る140,578千円となり、令和4年度目標の33,500千円を上回った。